


派遣報告書

平成~~24~~年5月30日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員

内田 隆 

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間	平成 24 年5月16日(水)から平成 24 年5月18日(金)まで
2 派遣先	大阪人権博物館・大阪教育大学・山梨県都留市
3 視察(調査)議員名	内田 隆
4 面会者	別添 名刺の通り
5 派遣目的	人権啓発・学校との連携等について、小水力発電
6 視察の経過及び感想	別紙
7 添付書類	
(1)	名刺 写真
(2)	施設の紹介パンフレット

要した経費： / 人合計 79,770 円

視察の経過及び感想

第一日目（5月16日）

大阪人権博物館リバティーおおさか視察後大阪教育大学にて小学校の統合問題について、島センター長と戸田教授と意見交換を行った。

「感想」大阪市内の四自治体（河南町・門真市・枚方市・能勢町）での取り組みについて実例を基に校区再編及び規模と配置の適正化の考え方やこれからの教育環境のあるべき姿そして、審議会の答申で再編統合対象校関係者への配慮・通学上の安全の確保・地域教育コミュニティの再編などへの具体的提言例を聞くことができた。

第二日目（5月17日）

山梨県都留市の家中川小水力発電の取り組みについて視察・意見交換を行った。

「感想」平成16年、市制50周年を機に水のまち都留市のシンボルとして平成23年までに3機の小水力発電を稼働させている。発電した電力は、都留市役所や隣接する「エコハウス」、植物栽培展示施設「城南倉庫」に供給されている。発電機の導入には、さまざまな機関からの補助金の他、住民参加型公募債を活用することにより、自治体の資金調達が多様化、住民の行政への参加意識の向上などの効果が期待される。これは倉吉市としても、有効な資金調達手段として研究すべきである。